

“届けよう、服のチカラ” アワード 2017 年度受賞校

【最優秀賞】

学校名	美濃加茂市立太田小学校（岐阜県）
学年	小学校 6 年生
人数	113 名
活動の枠組	総合的な学習の時間
活動テーマ	「世界に目を向けよう！」日本を知り、世界を知ろう
活動内容	学年の児童を①施設連絡班②BOX作成班③広報班A④広報班B⑤校内連絡班⑥記録班の6つの班に分け、すべての活動を児童主体で実施した。 服の回収後は、集めた84箱の段ボール（12,570枚）をすべて体育館に並べて、報告会を実施。出張授業をしたユニクロ講師や協力施設の代表者を招待し、活動報告とお礼を伝えた。



広報班の劇や紙芝居では、保育園の祖父母参観日に訪問。

どう伝えたら自分たちの願いが伝わるのかを考え「切手のないおくりもの」の替え歌をオリジナルの振り付けで披露したところ、涙を流して感動してくれた方もいた。



報告会では回収した服と記念撮影。

活動を通じて、地域に「太田小では、難民のための子ども服の回収をしている」ということも広がり、願いをもって活動する児童を支えようという地域の気運が高まった。児童にとっても自分たちの活動が地域の方々に支えられていること、そんな素敵な地域に住んでいることという自覚を一層深めることができた。

【優秀賞】

学校名	阿南市立桑野小学校（徳島県）
学年	小学校 5 年生
人数	19 名
活動の枠組	総合的な学習の時間
活動テーマ	服のチカラを感じ、服のチカラを信じ、小さくても自分にできることを精一杯やる ～服のチカラで国際貢献～
活動内容	「自分達の住む町が世界につながる事」や「自分達の小さな働きも世界の平和に関わることができる」ということを実感させることを目的として参加した。図工の時間に回収箱作りやチラシ・ポスター作りを行ったり、国語の時間に文章内容の検討や発表の練習などを行ったりと、総合的な学習の時間以外にも教科横断で活動に取り組んだ。学校独自に事前事後学習を行い、非識字の問題や世界の紛争・戦争について学んだ。



図工の時間での回収箱作り。総合的な学習の時間以外にも教科横断で取り組んだ。



回収した服と記念撮影。
この活動によって家族や地域の人々の生活や考え方がどのように変化してきたか等に関しても今後の授業で追求していきたい。

【優秀賞】

学校名	八戸市立長者中学校（青森県）
学年	中学校 3 年生
人数	82 名
活動の枠組	総合的な学習の時間
活動テーマ	今、自分たちにできる国際協力
活動内容	<p>生徒一人ひとりが国際的視野から物事をみつめること、難民に対する正しい知識をもち自分たちで協力できることを探し、活動することの2つを目的に参加。9月にポスターやチラシを作成し、地域の4つの団体と校内に服の回収協力を呼びかけた。</p> <p>回収した子ども服は、文化祭で1教室を使って展示し、地域の方々へも紹介した。4年間活動を継続していることで地域との連携がより深まっただけでなく、生徒自身の成長も見られた。</p>



中学1年生の時から継続して本プロジェクトに参加している生徒達。年を重ねる毎に目標を持って取り組んだり、より効率のよい仕分け方法を考えたりと成長が見られた。



回収した子ども服で「ユニクロ」という文字を作成し、最後の記念撮影。3年間の活動の集大成ということもあり、満足した表情。

【優秀賞】

学校名	私立豊橋中央高等学校（愛知県）
学年	高校 1～3 年生
人数	17 名
活動の枠組	ユネスコ委員会
活動テーマ	地元豊橋市内の幼稚園 21 園とつながっての告知・回収活動
活動内容	生徒達が「自分達に何ができるか」「どのように社会に働きかけ、つながっていくのか」を考えること、行動することに重点を置いて活動に参加。 告知活動では、豊橋市内の幼稚園の園長会で協力依頼。豊橋市内、田原市内の幼稚園 21 園が協力してくれることになったため、1 園ずつ御礼と必要なチラシの枚数の確認を兼ねて電話をかけた。文化祭でも子ども服回収ブースを作り、チラシを用いて園児に子ども服を持って来てもらった。ブースでは、チラシでは伝えきれない難民の状況や過去の子ども服を届けたレポート等を展示し、よりこの活動を知ってもらえる工夫をした。



幼稚園に子ども服の回収に行った際、卒業生が出迎えてくれた。先輩から子ども服を受け取った生徒達は、本活動を通じて、気づかないうちに大きな“つながり”ができていたことを実感できた。



文化祭の中でも子ども服回収ブース。子ども服を持って来てくれた園児に文化祭を楽しんでもらえるように案内も実施した。
地元豊橋の人々の“チカラ”を借りて 88 箱分の子ども服を回収できた「つながる」ということは「相手のことを知り、相手に合わせることを意識しなければ成立しないということ」を学んだ。

【優秀賞】

学校名	私立近畿大学附属高等学校（大阪府）
学年	高校2年生
人数	76名
活動の枠組	世界史B・日本史A・現代社会
活動テーマ	英語特化コースでの地歴公民科の学習内容と連動させ、SDGsの理念を現実化させた、学校から地域へと発信するプロジェクトベースの古着回収活動
活動内容	<p>生徒主体の問題解決型授業となること、学校の外や教室の外とつながること、SDGsを意識して持続可能性を持つことの3点を意識して、2学期の地歴公民科のほぼ全ての授業時間を使って活動に取り組んだ。</p> <p>夏休み中に生徒が考えた活動案10個を元にプレゼン大会を実施。「ストーリー性・Sustainability・実現可能性・学びの大きさ・シンプルな資料」の観点から実際に実施する回収プランを4つに絞った。それらのプランに基づき、自作の紙芝居や動画で小学生に告知をしたり、UNIQLO ニトリモール東大阪店の店頭スペースを借りて、難民の事やボランティアの気軽さについて参加者が学ぶことができるイベントを実施したりした。</p>



自作した紙芝居を用いて小学生に告知。教室や学校の外にある課題に対して、いかに向き合い変革をもたらすか、という点も重視した活動を行った。



生徒が自作したQRを使って見ることができる動画。教師は徹底的にファシリテーション役に徹し、生徒個々のリーダーシップによるプロジェクト達成を目指した。

【審査員特別賞】

学校名	私立エクセラン高等学校（長野県）
学年	高校2～3年生
人数	38名
活動の枠組	コース学習
活動テーマ	「体感」による「理解」から「共生」を考える (プロジェクトを通じて、世界情勢を理解し、共存共生の心を育む)
活動内容	本プロジェクトに参加をするのは5年目。毎年参加する中で、集めた服を実際に受け取る人々はどのような状況にあるのか、なぜそうなっているのか、自分達には何ができるのかまで思い至るような学習活動にすることを意識し、国際情勢（特に難民問題）に関する学習に力を入れてきた。今年も、いくつかの班に分かれ、UNHCRの資料を参考にしながら、難民発生上位国であるシリア・アフガニスタン・ソマリア・南スーダン・コンゴ民主共和国・ミャンマー・イラクの7カ国について、難民発生の背景や、そこに生きる人々の状況を調べ、学習発表会を行った。

The image shows a collection of project materials. On the left is a poster titled '難民問題' (Refugee Issue) with a ranking of countries: 1st Syria, 2nd Afghanistan, 3rd Middle East Africa. In the center is an infographic titled '難民の現状' (Current Situation of Refugees) showing statistics and a map. On the right is a text document titled 'シリアの現状' (Current Situation in Syria) with a red seal.

生徒がまとめた資料。難民発生が慢性化している国々は、取り上げられることも少なく情報が得にくい、といった苦労もあった。



最後の学習発表会の様子。
活動を通じて、生徒達は難民問題をより意識するようになった。

【審査員特別賞】

学校名	愛媛県立松山盲学校（愛媛県）
学年	高校 1～3 年生
人数	7 名
活動の枠組	現代社会、生活単元学習、自立活動、総合的な学習の時間
活動テーマ	届けよう、服のチカラ。広げよう、私たちのチカラ。 —特別支援学校におけるキャリア教育と連携させた取組を目指して—
活動内容	回収計画からポスターづくりの活動では、目的・内容を十分に理解することで、生徒が自らアイデアを出し合い積極的に意見交換ができるようになった。見え方も、体の動き方も、理解の仕方も全く異なる実態を持っている生徒が、それぞれの好きなことや得意なことなど互いの個性を考慮して役割分担を行った。パソコンやコピー機を使う作業、ポスター配布の活動、箱の組立て、服をたたんで詰めることまで全ての工程において生徒のコミュニケーション能力や作業能力の向上を意識して取り組んだ。



ポスターと依頼文を持って回収先に行くことは、白杖歩行やコミュニケーションの能力を向上させる学習になった。視覚障がいのある生徒にとって、校外を歩くこと、初めて会う人と話すことは重要な自立活動に繋がる。



沢山の子供服に驚き、服に触れながら、成果の大きさを感じる生徒達。地域への呼び掛けや回収活動を通じて自分達をアピールし、自己肯定感を高めることができた。